

違憲判決のプロセスを解き明かす裁判資料

憲法9条事件

資料集成1

長沼ミサイル基地事件資料

監修：奥平康弘（東京大学名誉教授）

解題：深瀬忠一（北海道大学名誉教授）

内藤功（弁護士）

全6巻 B5判・上製本・別冊1

総ページ数2838頁

揃定価150,000円+税 *分売不可

ISBN978-4-86369-136-0

すいれん舎

1 支援団体等から提供された貴重な裁判資料

長沼ミサイル基地事件の闘いを支えた支援団体の北海道平和委員会などから提供された貴重な裁判資料を忠実に復刻。

2 訴状、準備書面、尋問調書、控訴状、上告理由書等の資料を収録

長沼ミサイル基地事件にかかわる裁判資料を訴状、答弁書をはじめ原告、被告双方の準備書面、尋問調書、控訴状、上告理由書などを時系列順に配列した。

3 違憲判決のプロセスを解き明かす裁判資料

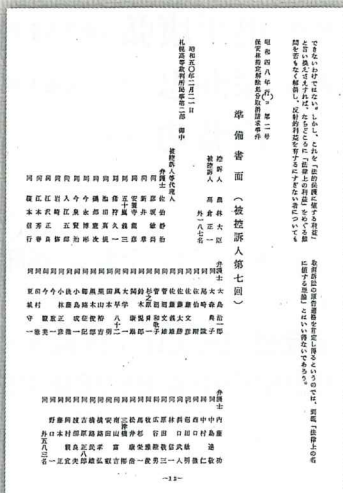
一審福島違憲判決までのプロセスを明らかにする貴重な裁判資料。北海道平和委員会が作成した裁判資料を完全復刻。

4 一審から最高裁までの裁判資料を収録

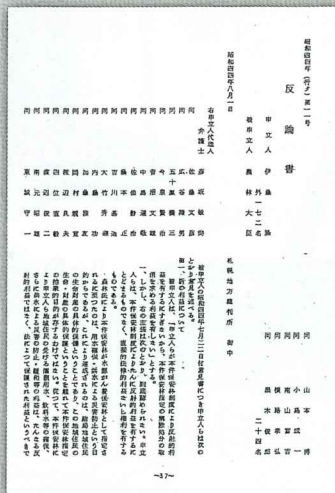
一審の詳細な裁判資料のほか、二審の控訴審裁判資料、さらには上告理由書をはじめとした最高裁の裁判資料まで収録。長沼ミサイル基地事件裁判の全軌跡が追えるようにした。

5 丁寧な解題と詳細な資料総目次を作成、付加

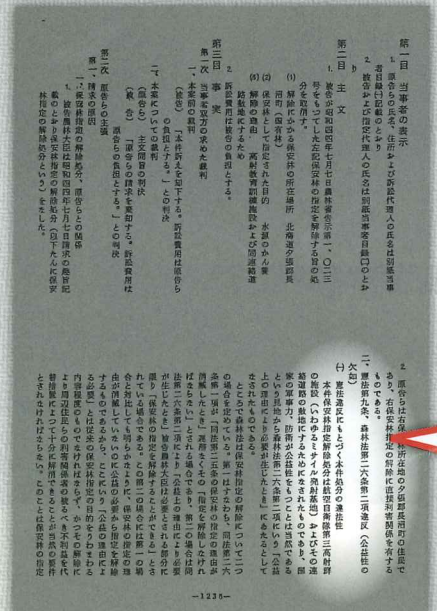
代理人による丁寧な解題を記したほか、事件に深くかかわった研究者の講演を転載収録した。さらに資料の総目次を作成、別冊に掲載した。



●裁判資料の主体は準備書面



●保安林解除処分執行停止申立事件などの資料も収録

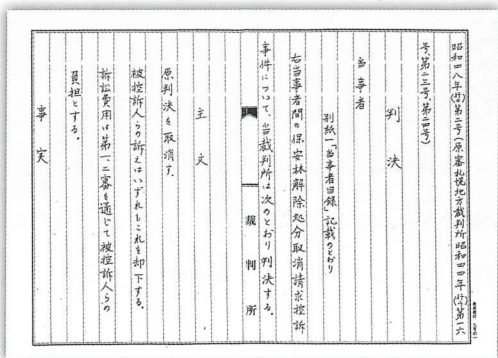


●一審違憲判決

上の理由により必要が生じたとき」にあたるとしてなされたものである。



●1枚も自衛隊に渡さなかった! 傍聴券獲得のため、裁判所前に張られたテントで徹夜の座り込み学習会をする支援者たち



●二審判決

日本国憲法

第二章 戦争の放棄

第九条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

第二項 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

あり、右保安林指定の解除に直接利害関係を有するものである。

二、憲法第九条、森林法第二十六条第二項違反(公益性の欠如)

(一) 憲法違反にもとづく本件処分は違法性

本件保安林指定解除処分は航空自衛隊第三高射群の施設(いわゆるミサイル発射基地)およびその連絡道路の敷地にするためになされたものであり、国家の軍事力、防衛が公益性をもつことは当然である

収録巻	年月日	タイトル
第1巻	1969年10月3日	第1回口頭弁論調書
	1969年12月12日	第2回口頭弁論調書
	1970年2月13日	第3回口頭弁論調書
	1970年3月13日	第4回口頭弁論調書
	1969年7月7日	訴状
	1969年9月22日	答弁書
	1969年12月6日	準備書面(第1回)(国側)
	1969年12月12日	準備書面(1)(原告側)
	1970年2月5日	準備書面(第2回)(国側)
	1970年3月5日	準備書面(第3回)(国側)
	1970年3月13日	準備書面(2)(原告側)
	1970年4月18日	忌避の申立(国側)
	1970年4月24日	福島裁判長の意見書
	1970年5月4日	忌避申立に対する意見書(原告側)
	1970年4月21日	要請書(原告側)
	1969年7月22日	意見書(国側)
	1969年8月1日	反論書(原告側)
	1969年8月7日	報告書(原告側)
	1969年10月6日	反論書(被告側)
	第2巻	1969年11月26日
1970年10月9日		証人 源田実 尋問調書 第6回口頭弁論
1970年11月13日		証人 高橋南 尋問調書 第7回口頭弁論
1971年1月29日		証人 源田実 尋問調書 第8回口頭弁論
1971年3月12日		証人 高橋南 尋問調書 第9回口頭弁論
1971年5月14日		証人 緒方景俊 尋問調書 第10回口頭弁論
1971年7月16日		証人 山田昭 尋問調書 第11回口頭弁論
1971年9月30日		証人 内田一臣 尋問調書 第12回口頭弁論
1971年10月1日		証人 沢辺守 尋問調書 第13回口頭弁論
1971年11月25日		証人 中村龍平 尋問調書 第14回口頭弁論
1971年11月26日		証人 林茂夫 尋問調書 第15回口頭弁論
1972年1月27日		証人 植村英一 尋問調書 第16回口頭弁論
1972年1月28日		証人 藤沢信雄 尋問調書 第17回口頭弁論
1972年3月30日		証人 遠藤三郎 尋問調書 第18回口頭弁論
1972年3月31日		証人 小山西宏 尋問調書 第19回口頭弁論
1972年5月25日		証人 大久保隆彦 尋問調書 第20回口頭弁論
1972年5月25日		証人 志満一善 尋問調書 第20回口頭弁論
1972年5月26日		証人 木崎哲夫 尋問調書 第21回口頭弁論
1972年9月28日		証人 鷺見友好 尋問調書 第22回口頭弁論
第3巻		1972年9月28・29日
	1972年9月28・29日	原告 伊藤隆 尋問調書 第22、23回口頭弁論
	1972年9月29日	原告 清水与作 尋問調書 第23回口頭弁論
	1972年9月29日	原告 土田栄 尋問調書 第23回口頭弁論
	1972年11月16日	証人 田畑茂二郎 尋問調書 第24回口頭弁論
	1972年11月16日	原告 関口喜一郎 尋問調書 第24回口頭弁論
	1972年11月17日	証人 小林直樹 尋問調書 第25回口頭弁論
	1973年3月29日	最終準備書面(原告側)
	1973年3月20日	準備書面(第4回)(国側)
	1973年9月7日	札幌地裁 判決
	1973年9月12日	控訴状(国側)
	1974年5月31日	準備書面(1)(国側)
	1974年6月26日	準備書面(第1回)(被控訴人側)
	1974年7月3日	第1回口頭弁論調書
	1974年9月2日	準備書面(2)(国側)
	1974年9月9日	準備書面(第2回)(被控訴人側)
	1974年9月9日	準備書面(第3回)(被控訴人側)
	1974年9月9日	第2回口頭弁論調書
	1974年12月17日	準備書面(第4回)(被控訴人側)
	1974年12月17日	準備書面(3)(国側)
1974年12月17日	第3回口頭弁論調書	
1975年2月21日	準備書面(4)(国側)	
1975年2月21日	第4回口頭弁論調書	
1975年5月16日	準備書面(第9回)(被控訴人側)	
1975年5月16日	第5回口頭弁論調書	
1975年7月24日	準備書面(7)(国側)	
1975年7月24日	準備書面(第11回)(被控訴人側)	
1975年7月24日	第6回口頭弁論調書	
1975年10月3日	準備書面(8)(国側)	
1975年10月3日	準備書面(第12回)(被控訴人側)	
1975年10月3日	第7回口頭弁論調書	
1975年12月4日	準備書面(9)(国側)	
1975年12月4日	準備書面(第13回)(被控訴人側)	
1975年12月4日	第8回口頭弁論調書	
1976年3月12日	準備書面(第16回)(被控訴人側)	
1976年3月12日	第9回口頭弁論調書	
1976年3月15日	裁判官忌避申立書(被控訴人側)	
1976年6月10日	口頭弁論再開申請書	
1976年7月16日	口頭弁論再開申請書(補充書)	
1976年8月5日	札幌高裁 判決	
1977年3月30日	上告理由書	
1982年9月1日	上告理由補充書	
1982年9月1日	上告理由補充書	
1982年9月9日	最高裁 判決	

最高裁

推薦人

新井 章 (弁護士・元茨城大学教授)

石村善治 (福岡大学名誉教授)

内田雅敏 (弁護士)

浦田一郎 (明治大学法科大学院教授)

山内敏弘 (一橋大学名誉教授)



2期以降刊行予定

2期	恵庭事件資料	2013年5月	揃予価210,000円+税
3期	自衛隊イラク派兵訴訟資料1	2013年11月	揃予価200,000円+税
4期	自衛隊イラク派兵訴訟資料2	2014年5月	揃予価150,000円+税
5期	沖縄代理署名訴訟資料	2014年11月	揃予価150,000円+税
6期	百里基地訴訟資料	2015年5月	揃予価150,000円+税
7期	砂川事件資料	2015年11月	揃予価250,000円+税

憲法9条事件資料集成1

長沼ミサイル基地事件資料

全6巻 B5判・上製本・別冊1

総ページ数2838頁

ISBN978-4-86369-136-0

揃定価150,000円+税 *分売不可

株式会社 すいれん舎

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-10 西村ビル5F

TEL.03-5259-6060 FAX.03-5259-6070

E-mail masato@suirensa.jp

取扱店